



第2回ものづくり&あいでいあコンテストを開催

去る令和2年1月26日(日)午後1時より山形県産業科学館4階発明工房において、第2回ものづくり&あいでいあコンテストを開催しました。これは、山形市コミュニティファンド補助事業を受けて、山形県産業科学館様、オリエンタルモーター株式会社様からも協賛いただいて実施したものです。

応募は小学校、中学校、高校、高専まで7件ありました。3Dプリンターを活用したアイデアと実践した内容のプレゼンテーションがありました。審査は、当日参加した応募者と実行委員が審査投票を行い、最優秀賞1点、優秀賞2点を選び、他に実行委員により特別賞4点が選ばれました。

最優秀賞は「寺津地区3Dプリンターハザードマップ」寺〜's(天童市立寺津小学校5年1組)でした。いずれの発表も素晴らしい内容で甲乙つけがたいものでした。質疑応答も活発になされて、大いに盛り上がりました。

表彰は、令和2年2月22日(日)のYMN総会並びに研究会で行われます。

応募者の皆さん、実行委員の皆さん、産業科学館の皆さんありがとうございました。

- 「児童生徒が独自案」毎日新聞令和2年1月27日(月)付
- 「3Dプリンター何に使う？」山形新聞令和2年2月1日(土)付



山形市立商業高等学校へ3Dプリンター贈呈

去る令和元年12月20日(金)16:15~山形市立商業高等学校へ手作りYMN教育用3Dプリンターを贈呈しました。贈呈式には、山形市立商業高等学校小林校長先生をはじめ4名の職員の方、コンピュータ部員8名、手作りYMN 3Dプリンター製作者の県立寒河江工業高校の先生と生徒3名、YMN代表が出席しました。寒河江工業高校の生徒が校長先生に3Dプリンターの贈呈書をお渡ししました。

この事業は山形市コミュニティファンド公開プレゼンテーション事業「次代を支える人材に創造的な能力を育むSTEAM教育の推進」の支援を受けて実施したものです。山形市内高校や大学等の3校の学校へ導入する事業です。

ぜひ、3Dプリンターを学校の教育活動の中で活用していただきたいと思います。



山形市総合学習センターへ3Dプリンター贈呈

去る令和2年1月16日(木)11:00~山形市総合学習センターへ手作りYMN教育用3Dプリンターを贈呈しました。この手作りYMN教育用3Dプリンターは山形県立寒河江工業高等学校情報技術科の生徒が制作しました。贈呈式には山形市総合学習センターの五十嵐副所長様をはじめ3名の先生方が出席されました。

この事業は公益信託荘内銀行ふるさと創造基金事業「21世紀型能力を育むSTEAM教育を推進しよう」の支援を受けて実施したものです。県内市町村教育センター等の教育機関施設3カ所に導入する事業です。

山形市総合学習センターには山形市内の小中高の先生方が研修に来られます。

ぜひ、3Dプリンターを紹介していただくとともに、研修や研究の教育活動や所轄の学校で活用していただければありがたく存じます。

